

ともしび



第144号

平成29年1月1日

題字は(故)黒川利雄博士

検診の 特色

- ・ 高い精密検査受診率と高い早期がん発見率
- ・ 専門医療機関紹介
- ・ 高い信頼性に基づく精度管理
- ・ 一貫したデータ管理

早期発見
早期治療

がん検診は
定期的に!



グー子ちゃん

がん助くん

宮城県がん征圧イメージキャラクター



目次

新春のご挨拶	2
平成29年度がん健診事業説明会並びにがん予防研修会	3
イベント報告	4
みやぎよろこびの会活動報告	7
この課にチューモク	10
市町村健康まつり	11
健康へのススメ・がん総合相談・がんなんでも相談のご紹介	12
ご寄付をいただいた方々・継続寄付のお願い	13
「黒川利雄がん研究基金」研究助成金希望者募集	16

新春のご挨拶

公益財団法人 宮城県対がん協会
会長 久道 茂



新年明けましておめでとうございます。

当協会は、昭和33年の創設以来「がん征圧」を設立目標にかかげ、東北大学をはじめとして、宮城県医師会、縣市町村、経済界等関係団体、検診実施主体の皆様のご指導、ご協力をいただきながら、がん予防、早期発見と治療に関する研究とその助成、啓発活動、検診事業及びがん患者やその家族への相談支援などを進めてまいりました。

日本人の死因の第一位はがんです。がんのうちで主要ながんは、男女とも胃がん、肺がん、大腸がん、女性の乳がん、子宮がんです。これらのがんは、早期発見すればかなりの確率で完治するがんです。がん検診はそのためにやるのです。早期がんであれば、高齢者でも根治を目的とした治療が可能でかつ医療費も軽減されます。一方、進行がんでは治療費の負担は重く、最近では、ある種のがんでは一人の費用が3500万円という例も出てきました。国全体では数兆円という計算もされています。そのためにも早期発見がいかに大切か、がん検診の重要性が再認識されるところです。

一昨年、厚労省が設置した「がん検診のあり方に関する検討会」の中間報告で、これまでの胃がん検診の方法や検診間隔の見直しを行い、指針が出されました。それに対する具体的な対応には、関係学会や検診団体から、様々な意見が出され、最終的には、科学的な根拠が示されるまでの当分の間は、従来通り行ってもよいということになりました。

そのため、国立研究開発法人・日本医療研究開発機構（AMED）の公募開発研究に採択された「個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究」を当協会が委託研究機関として、また、当協会の研究局長が委託研究開発代表者となって、全国的な共同研究をすることになりました。宮城県が中心となって行う極めて重要な「大規模前向き比較対照試験」ですので、宮城県、県内の市町村、医師会、東北大学、がん診療拠点病院などの関係機関には格段のご協力とご支援を頂ければ幸いです。

この研究成果が、わが国の胃がん対策の方向を示唆する大切な事業でありますので、新春の挨拶の場を借りてご理解を賜りご協力をお願いする次第です。今年も、どうかよろしく願いいたします。

平成29年度がん検診事業説明会並びにがん予防研修会

事業説明会

平成29年度のがん検診事業説明会が、市町村及び事業所の担当の方々に参加をいただき10月7日金曜日にフォレスト仙台において開催されました。久道会長の挨拶に始まり、加藤事務局長から平成29年度における各種がん検診計画について説明があり、一次検診並びに精密検査の精度を重視した検診の提供、その後の事後管理まで一貫した検診体系「みやぎ方式」の継承に引き続き努め、がん予防等に関する普及活動のための活動にも、より一層力を入れていく報告がありました。

また、長い間据え置きました、胃がん検診の料金改定について説明いたしました。

その後、研究局長の深尾彰先生から「新たな胃がん検診の考え方」と題して、現在検討されている、がん検診のあり方に関する検討会で出された中間報告書の胃がん検診の検診方法や対象年齢、検診間隔等についての説明や、これから始まる国立研究開発法人・日本医療研究開発機構（AMED）の公募研究について説明いたしました。



がん予防研修会

がん検診事業説明会に引き続き午後からは、がん予防研修会がありました。講演の前に宮城県疾病・感染症対策室がん対策班の森川聡子さんより事業評価のためのチェックリストの主な改定箇所について一つずつ説明をいただきました。その中には、午前中の事業説明会でも話題が出ていました胃がん検診における胃内視鏡検査についても追加項目として挙げられていました。その後、加藤勝章副所長から「新たな胃がん検診の取組み」という演題で、胃X線検診における胃炎診断導入の意義や除菌後の胃がん検診の重要性等、近年の胃がん検診における取組みについての講演をいただきました。次に島田剛延副所長より「大腸がん検診の現状と将来」という演題で、大腸がん検診のガイドラインをはじめ2016年版チェックリスト、大腸CT検査（CTC）による精密検査等、大腸がん検診における過去・現在・将来についての講演をいただきました。

がん征圧全国大会

がん征圧全国大会が9月9日（金）京都市のロームシアター京都にて開催されました。

今回で49回目となった大会は「京から明日へ がん征圧の明るい未来」をテーマに全国の支部関係者をはじめ、京都府内の医療機関関係者や患者団体等約900名の参加となりました。

朝日がん大賞はがん登録の基盤を整備し、がん登録によるがん対策の新時代の功績を讃えられた、特定非営利活動法人地域がん登録全国協議会が受賞、日本対がん協会賞は個人5名と1団体、がん征圧スローガン入選者、がん征圧ポスターデザインコンテスト最優秀賞、永年勤続者の各表彰が執り行われました。

その後、タレントの山田邦子さんが「大丈夫だよ、がんばろう！」の題で自らの体験を交えた記念講演を行い、時期開催地の石川県支部からの挨拶で幕を閉じました。



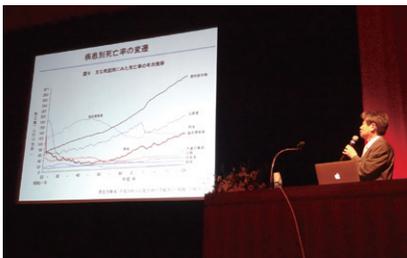
がん講演会及びパネル展

平成28年度がん征圧月間行事の「がん講演会」及び「がん予防パネル展」が青葉区中央の仙台市シルバーセンター交流ホールにおいて開催されました。

「がん講演会」では、東北大学大学院腫瘍外科学分野准教授の石田孝宣先生による「上手に使おう乳がん検診」と題して講演が行われました。最近、フリーアナウンサーの小林麻央さんが乳がんであることを公表したり、社会的に大変話題になり、関心の高い乳がんとあって、

参加者は幅広い年齢層で熱心に先生の講演を聞いていました。

ホールロビーで行った「がん予防パネル展」では、パネルや模型等の展示を行った他、胃ファイバースコープの操作体験や顕微鏡でがん細胞を覗いたり、乳房の視触診模型を使って良性悪性のしこりを実際に触っての体験をしていただきました。



街頭活動委員会

平成28年9月4日（日）、第9回目となる一番町啓發行進を市役所前から南町通りまで実施しました。当日はまさに行進日和。朝から爽やかな青空が広がり、がん検診の重要性をアピールしながら行進している私達の声に多くの方が耳を傾けてくれました。職員や職員のご家族の他に宮城県、仙台市、宮婦連及び、がん検診受診率向上に向けた協定企業の皆様に参加していただき、約1時間かけて行進しました。



平成28年度「がん征圧月間」写真



がん検診センター



青葉区役所



泉区役所



太白区役所



仙台市役所

宮城県がん総合支援センター ラジオ生出演

平成28年10月28日（金）、NHK第一ラジオ「ゴジだっちゃん」に宮城県がん総合支援センター相談員の田村久美子さんとがん患者会 サロン・ネットワークみやぎ代表の吉田久美子さんが生出演しました。放送は約20分間に亘り、がん相談や患者会、がん検診等についてパーソナリティー2名と対談形式で行われました。田村さんは、宮城県がん総合支援センターの特色である“病院の外にあるがん相談窓口”について分かりやすく説明し、更に「がん検診を受診することが早期発見・早期治療に繋がる大切なことである」と多くのリスナーの方に呼び掛けていました。



平成28年度がん教育事業

平成28年度も宮城県から委託され、出前授業及び講演会を実施いたします。小中学校の授業は講師として当協会の看護課保健師より、大学での講演は昨年に引き続き、おざわ女性総合クリニック院長の小澤信義先生と中川記念ちか子女性クリニック院長の岡村智佳子先生にお願いしております。

小中学校の授業は、将来的に養護教諭が実施する事になりますが、それまでの間、当協会の保健師が橋渡し役として頑張っているところです。

この機会に、がんに関する正しい知識の普及啓発を行い、若年期女性の子宮頸がんの受診率向上に繋がればと思います。

【小・中学校 10校】

11月25日（金）	亘理町立長瀬小学校
12月 5日（月）	東松島市立矢本西小学校
12月 6日（火）	加美町立東小野田小学校
1月18日（水）	大河原町立金ヶ瀬中学校
1月26日（木）	南三陸町立歌津中学校
1月30日（月）	仙台市立鶴巻小学校
2月 7日（火）	栗原市立鶯沢小学校
2月 9日（木）	仙台市立向山学校
2月14日（火）	仙台市立高砂小学校
2月21日（火）	登米市立豊里小学校

【大学 6校】

12月 1日（木）	東北福祉大学 医療経営管理学科
12月 7日（水）	仙台医療福祉専門学校 医療秘書学科
12月 8日（木）	仙台青葉学院短期大学 栄養学科
12月14日（水）	仙台白百合女子大学 健康栄養学科
12月22日（木）	宮城学院女子大学 食品栄養学科
日程未定	宮城県高等看護学校



平成28年度 第49回みやぎよろこびの会大会

今年のみやぎよろこびの会大会は、秋も深まり紅葉真っ盛りの、くりこま温泉郷ハイルザーム栗駒で10月20日（木）～21日（金）の2日間開催されました。昨年同様温泉地と言うこともあり、県内各地の支部から大勢の会員が集まりました。また、宮城県知事、対がん協会久道会長、福島、山形支部の会長にご臨席をいただき、総勢40名での大会となりました。

会長表彰では、長年会にご尽力いただいた2名の方と個人会員として長年参加している1名の方に感謝状が贈られました。

二部の講演では、元対がん協会職員で保健師・ケアマネジャーの高橋久子氏による、「すばらしい明日のために～健康寿命をのばしましょう～」の演題で講演をいただきました。参加された会員の皆さんは、年輪を重ねた方々が多く熱心に耳を傾けており、「さっそく明日から会員みんなで実行しよう」と話されていました。その後、出席者全員で記念撮影を行い第三部の情報交換会へと場所を移しました。一年ぶりの再会を果たし、お酒も進みカラオケには予想を超える多くの方々の参加で大いに盛り上がりました。

また、丸森支部の方々の演芸は、会員全員が楽しみにしているもので、いつも通りのすばらしい出来栄えに拍手喝采でした。

来年度は、みやぎよろこびの会が記念すべき、創立50周年を迎えます。来年の再会を約束して、紅葉の栗駒山を後にしました。

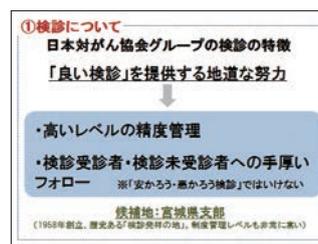


プロモーションムービーへの撮影協力

平成28年10月13日～14日にかけて、日本対がん協会の活動内容を紹介する映像撮影に協力がしました。

1日目は、検査課藤原しのお係長、計画課熊谷和夫課長補佐、看護課齋藤千晴課長補佐が質の高い検診を実施するために心がけている事、震災後の苦勞、それぞれの業務で難しい事ややりがいを感じる事などのインタビューに対応しました。

2日目は、実際の胃がん検診会場（検診車内撮影室及び待合や受診者等）や被災地周辺の撮影と放射線課菅野宏之係長へ精度管理の重要性等のインタビューを行いました。インタビューを受けた職員は、初めは緊張していたようですが、徐々に普段のペースに戻り、早期発見・早期治療の大切さを中心に自分達の対がん活動に対しての思いを伝えるように話していました。短い時間ではありましたが、高いレベルの精度管理やフォローアップ体制をアピールできたのではないのでしょうか。



リレーフォーライフに参加して

去る9月24日～25日、第8回目となるリレーフォーライフが、仙台国際センター内せんだい青葉山交流広場を会場に行われました。

今年もチーム対がん協会として参加し、途中雨模様の時間もありましたが、真っ暗な夜間、朝焼けの頃、暑くなった日中も含め、協会からも多くの有志の方々にご参加いただきました。24時間つなぎ続けた結果、1,150周歩き、全体で2番目に多い周回数となり、チーム表彰を受けることが出来ました。

夕方からのルミナリエで照らし出されたメッセージには、サバイバーやケアギバーの気持ちを伺うことができました。直接的には伺うことができない想いを表現すること、それ自体が勇気のあることだと思いました。改めて「もっとその体験等を知って職務への想いを強くしないと！」と感じた、今後につながるイベントでした。

また、普段はゆっくり話すことができない方とのコミュニケーションも含め、一緒に歩く仲間の存在、イベントとしては長く感じるかもしれない24時間という時間も、がんと闘っている人にとっては貴重な時間であること、またそのように感じるができる命があることに、喜びや感謝をしなければならぬと実感しました。

そして他人の命を守るために日々業務に取り組んでいることの意義も再認識しました。受診率を高め、より多くの人に検診を受けていただくこと、サバイバー・ケアギバーの不安等に対して貢献できるなどの業務は、自分にとって幸せなことだと感じました。各自の役割は異なるかもしれませんが、多くの方々とこれからも「がん征圧」に向かって様々な想いを「つないで」いければと思います。

今年度はチームリーダーの一人としても参加させて頂きましたが、至らぬ点が多々ありました。しかし、それでも多くの職員・関係者の参加、また、差し入れ等、皆さんから暖かい心遣いをいただき、感謝の念に堪えません。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

計画課 玉木 雅大

～参加していただいた皆さん、ありがとうございました～



ピンクリボンオープニングセレモニー

今年度の開催が危ぶまれたピンクリボンマイルウォークが今年も開催されることとなり、これに先立ち、平成28年10月1日（土）ピンクリボンオープニングセレモニーが一番町藤崎前にて主催関係者、ボランティア等が参加し秋晴れの下開催されました。協会からは、法人事業課、よろこびの会が参加し、ピンバッジ、チラシを道行く人々に配布した後、場所を移動して仙台駅ペデストリアンデッキで多くの人にPRをしました。



ピンクリボンマイルウォーク仙台 2016

乳がんの早期発見・早期治療の大切さを訴える「ピンクリボンマイルウォーク」が10月29日（土）に勾当台公園いこいのひろばで開催されました。昨年は曇り空の肌寒い天候での開催でしたが、今年は前日の雨もあがり風は強かったものの晴天の中での開催となりました。

当日は、5キロに1,150人、10キロに750人の合計1,900人が参加し、ほとんどの参加者は、ピンク色のものを身につけ、歩きながら乳がん検診の大切さをアピールしました。

イベントでは、仙台らしく、温もりのある、とても賑やかな雰囲気の中、ベガルタ仙台チアリーダーズ、楽天ゴールデンエンジェルス、89ERSチアーズの皆様の華やかな演技、センダイガールズプロレスリングの笑いあいの準備体操、そして、モモ妹、ベガッ太、ティナ、クラッチーナ、ぐりりーず、かほピョン、むすび丸、まさむね君の着ぐるみちゃんたちもじゃんけん大会に参加したりして会場内に笑顔と癒しを与えてくれました。

また、午後のトークショーは、ゲストでフィギアスケーターの安藤美姫さん、東北大学の石田先生による乳がん検診の大切さを伝える興味深い内容で開催され、参加者が熱心に耳を傾けていました。



この課にチューモク第5弾!!

業務管理課紹介

今回は業務管理課の紹介をさせていただきます。

業務管理課は、胃・乳・大腸・子宮・前立腺・がん生活習慣病の6つの検診担当業務で構成されており、課員は31名で業務を遂行しています。

各担当では、読影の介補や検体の回収、一次検診及び精密検査の結果作成、経過観察者の管理等を行っています。

それでは、各担当の紹介をさせていただきます。



胃担当

胃がんは未だに多いがんのひとつです。私たちはバリウム検査で撮影された画像を先生方が診断しやすいように介補を行っています。また、胃の精密検査を受けられた方や経過観察中の方とのつながりが深い担当です。主に、検診の結果通知書をお届けするまでの業務を行っています。皆さんに安心して検診を受けていただけるよう、心をこめてお問い合わせの電話など、お受けしております。



大腸担当

大腸がんによる死亡数は男女共に年々増加し女性は第1位になっています。受診者が安心して継続して受診していただくためには、正確な検診結果を作成してご本人へ届けることが私達の役割・信頼だと自負おります。毎年、大腸がん検診を受けましょう。

乳担当

私たちは診断の介補や結果発送などの事務全般を担当しています。有名人の乳がん報道などもあり、H28年度は今までより多くの方に受けていただいています。これまで以上に乳がんが注目されていることで、不安な気持ちを抱えて受診する方も多くいらっしゃいますが、そんな方々の気持ちに寄り添えるように丁寧で正確な仕事を目指して日々頑張っています。

検査事務

私たち検査事務係6名は、子宮がん検診に関する実務を主に担当しています。

毎日集まってくる検体の下処理から受診票や結果集計、発送などに追われる毎日を送っています。仕事は裏方になりますが、受診者の方をはじめ、関係機関の方々に迅速で正確な対応をするべく、持ち前のパワーと笑顔を前面に出して頑張っています。



前立腺担当

50歳以上の男性を対象とした検診で受診数は徐々に増加しています。男性の皆さんも50歳になったら前立腺がん検診を受けましょう！

生活習慣病

私達は、胃の検診介補から胃・肺の読影介補、各種健診・検査結果の事務全般と、幅広く様々な健診・検査に携わっております。皆さんもご自分やご家族の「健康」の為に人間ドックをぜひお申込みください!!お待ちしております。

これからも、検査を受けていただいた皆様に心から「対がん協会の検診を受けて良かった」と言っていただけるよう、「正確」、「迅速」を心掛け、日々の業務に取り組んでまいります。

市町村健康まつり

今年も県内の市町村で健康まつりが開催され、当協会も「がん予防コーナー」としてブース参加させていただきました。

ブースでは、パネルの展示や、がん細胞を顕微鏡で覗いたり、乳がん触診模型の体験やがん予防クイズに参加してもらい、また会場によって、肺模型、胃模型、ファイバースコープの展示等も行い、地域の方とふれあいを大切にしながら、がん検診の重要性や、早期発見、早期治療のPRを行いました。

その中の「加美町健康フェスティバル」では、秋晴れの「やくらい山」の景色が冴えわたるなかで、加美町の秋まつり（JAまつり・食の文化祭）と同時開催で盛大に行われ、町内だけでなく、県内各地から多くの方が訪れにぎわいました。

当協会の「がん予防コーナー」でも、会場内の設けられた「健康クイズラリー」の途中のコースにあったため、若い子供連れのご夫婦や、町内の女子高校生なども含め多くの方に立ち寄っていただき、とても充実した1日でした。



5月28日	土	～生き生き健康フェスティバル～ 場所：登米市「登米市祝祭劇場」	
7月24日	日	～第1回アトレ・る まつり 2016～ 場所：松島町「松島町文化観光交流館」	
10月 8日	土	～しばた健康まつり～ 場所：柴田町「柴田町保健センター」	
10月15日	土	～大崎市健康と福祉のつどい～	
10月16日	日	場所：大崎市「古川保健福祉プラザ」	
10月23日	日	～平成28年度健康と福祉のつどい～ 場所：丸森町「丸森まちづくりセンター」	
10月23日	日	～第5回石巻市民食育健康フェスティバル～ 場所：石巻市「石巻市遊楽館」	
10月23日	日	～色麻町保健福祉センターまつり～ 場所：色麻町「色麻町保健福祉センター交流ホール」	
10月30日	日	～平成28年度加美町健康フェスティバル～ 場所：加美町「小野田文化会館（やくらい文化センター）」	
11月 6日	日	～第11回産業まつりにおける健康づくりコーナー～ 場所：松島町「松島町文化観光交流館・（アトレ・るhall）駐車場」	

健康へのススメ

20歳＝成人式。これは大人の仲間入りとされるタイミングの一つです。同じように大人の責任として、自身の健康を守るという義務も発生します。先に大人になった先輩がバリウムを飲みに行く姿を見ながら、いつかは自分もその年齢を迎えると知ってはいても、「自分はまだ早い」と思いがちではないでしょうか。性別や臓器により対象年齢に違いはあるものの、それは間違いだと思います。大人であれば、症状があるときは病院を受診し、なければ健診（検診）で健康を客観的に確認し続ける責任が同時に発生します。例えば、乳がん。マンモグラフィーは40歳以降が対象となりますが、自己検診の推奨は20代から全ての年代が適応です。自治体による違いもありますが、宮城県では30歳代は超音波検査が推奨されています。最新研究の結果も踏まえ、超音波検査は拡大の可能性もありますが、いずれにしても画像検診は年単位のものであるため、自己検診の徹底が望ましいのです。そうすることで、早期発見・早期治療につながることは明解です。

また生活習慣病の予防も同じくらい重要です。これも特定健診をはじめ、年に一度の健診で早期発見が可能となります。先に挙げた各種がんも、喫煙、高脂肪、運動不足、体重超過などが原因の一つです。大人として自己実現をしていくために必要な健康維持は、生活習慣やがんの予防を兼ねて、自らが健康寿命を延ばすことではないでしょうか。そのために良い生活習慣の継続と、定期的な健診（検診）の受診が必要だと思います。当検診センターでは、人間ドック健診、各種がん検診（胃・大腸・肺・子宮・乳・子宮）の他、専門の医師・看護師によるがん相談も行っています。相談はいずれも無料のため、連絡の上、上手に活用してみてください。

無料!

**「がんの悩みや不安を気軽に相談してください」
“がん相談”のお知らせ**

「がん総合相談」のご紹介

宮城県対がん協会のがん総合相談

宮城県対がん協会は、**医師による無料**の「がん総合相談」を行なっております。

ご家族の治療法や生活、セカンドオピニオンの受け方や患者の支え方など、ご本人やご家族のさまざまな悩み、不安、疑問などの相談に応じます。

完全予約制で一人様30分の面談方式です。相談日を調整させていただきますので、お電話でお申込みください。

**相談は無料ですので
お気軽にご予約ください。**

宮城県仙台市青葉区上杉5-7-30
お問い合わせ・予約申込 宮城県対がん協会
Tel.022-263-1525 (平日10:00~17:00)
面談日時を調整させていただきます。



「がんなんでも相談」のご紹介

宮城県がん総合支援センター

宮城県対がん協会は、**専任の看護師による無料相談**「宮城県がん総合支援センター」を設置しております。

がんと診断された方の不安や問題に対して情報を探さお手伝いをいたします。ご本人や、ご家族の方、両関係者の方など、どなたでもご利用可能です。一人で抱え込まず、表出するだけでも糸口が見えることがあります。どんな些細なことでもかまいません。お気軽にご連絡ください。面談・電話・FAX・Emailがご利用可能です。

**どんなお悩みでもかまいません。
一度お電話ください。**

Tel.022-263-1560 (平日9:00~16:00)
FAX 022-263-1548
E-ℓ zaitaku-gan@miyagi-taigan.or.jp



ご寄付をいただいた法人・個人

2016年6月1日～2016年11月30日受付分
順不同・敬称略

■篤志寄付金

株式会社博愛社仙台支店、阿部洋、金野多江子、仙台市学校保健会、女川町、吉村智津代、三浦絢子、多賀城水泳協会、涌谷町、屋代健三、RFL チーム対がん、石川司之、櫻井征夫、渋谷大助、センター募金

■黒川基金

芳賀芳一、西澤勝・緑、高橋久子

■特定維持会員

同和興業株式会社、株式会社七十七銀行、社の都信用金庫

■賛助会員（議会）

塩竈市議会、名取市議会議員会、多賀城市議会、蔵王町議会、大河原町議会議員互助会、村田町議会、柴田町議会、丸森町議会、巨理町議会議員会、山元町議会、利府町議会、大郷町議会、富谷町議会、大衡村議会、色麻町議会、美里町議会、栗原市議会、登米市議会、東松島市議会、南三陸町議会、石巻市議会議員会

岩沼市議会：酒井信幸、櫻井隆、国井宗和、飯塚悦男

大和町議会：今野善行、浅野俊彦、千坂裕春、渡辺良雄、門間浩宇、棚田雅之、藤巻博史、平渡高志、堀籠英雄、高平聡雄、馬場久雄、中川久男、堀籠日出子、大須賀啓、千坂博行、今野信一、犬飼克子、馬場良勝

涌谷町議会：竹中弘光、佐々木敏雄、佐々木みさ子、稲葉定、大友啓一、只野順、後藤洋一、久勉、杉浦謙一、門田善則、大泉治、鈴木英雅、遠藤积雄

■賛助会員（法人）

熱海建設株式会社、株式会社イメージパーク、石巻魚糧工業株式会社、有限会社上杉会計事務所、(有)おでん三吉、株式会社小田島、奥山工業株式会社、勝山企業株式会社、カメイ株式会社、上西産業株式会社、株式会社銀座薬局、クリア工業株式会社、弘進ゴム株式会社、株式会社小山商会、気仙沼商工会議所、笹氣出版印刷株式会社、(株)三陸新報社、株式会社佐々直、(株)三株園茶舗、株式会社三陸河北新報社、株式会社佐藤製線所、株式会社佐浦、株式会社白松がモナカ本舗、(株)ショクテン、塩釜商工会議所、志津川オリエン工業株式会社、仙台商工会議所、仙南信用金庫、株式会社仙台カントリークラブ、仙台弁護士会、株式会社仙台放送、宮城中央ヤクルト販売株式会社、白石商工会議所、武田雅比人、ツバキ薬局、東北放送株式会社、学校法人東北工業大学、株式会社東北プリント、東北総合信用保証株式会社、アルプス電気株式会社、東北特殊工業株式会社、東北福祉大学、常盤洋紙株式会社、常盤化工株式会社、日本製紙株式会社石巻工場、株式会社ウェルネス伯養軒、東日本興業株式会社、宮城商事株式会社、(株)ひまわり薬局、有限会社ふじや千舟、古川商工会議所、株式会社リバーヴ、松林商事株式会社、松田産業株式会社、宮城十條林産株式会社、株式会社宮城テレビ放送経営推進部、宮城県宅地建物取引業協会、宮城石灰工業株式会社、学校法人朴沢学園、株式会社メガネの相沢、株式会社渡辺採種場、ワタヒョウ株式会社、涌谷観光株式会社、有限会社アツミ自動車、株式会社ヨコハマタイヤサービス東北、カメイ物流サービス株式会社、株式会社羽田電機工業所、七十七コンピュータサービス株式会社、(株)ダイコクヤ、宮交自動車整備株式会社、東興産機株式会社、仙台和光純薬株式会社、株式会社石井組、コヤマリネン株式会社、宮城県自動車事業協同組合、

株式会社佐々啓、仙台画像検診クリニック、ダスキンタカハシ、東日本メディカルシステム(株)、公益社団法人仙台市防災安全協会、東北鉄骨橋梁株式会社、マルニ食品株式会社、株式会社新日電業商会、気仙沼業株式会社、菅基建設株式会社、石巻信用金庫、株式会社渡會、全労済宮城県本部、若生工業株式会社、有限会社サトー孔版印刷、大和証券(株)仙台支店、青葉緑化工業株式会社、株式会社あさの、イシイ株式会社、(有)三治郎旅館、株式会社イト、公立学校共済組合仙台宿泊所

■賛助会員（医師会）

仙台市医師会：阿部慎哉、伊藤益次、井上廉、井上重夫、大瀧忠、今井克彦、五十嵐稔、遠藤文雄、及川浩助、大澤寛寿、岡村けい子、小野寺英朗、大山明、伊藤賢司、石田一彦、遠藤潔、貝山仁、角安雄、京極芳夫、熊谷均、草野仁、小林眼科医院、古賀詔子、小林正資、金原孝行、佐藤裕也、佐藤弘房、佐藤茂、白根昭男、庄司眞、仙台オープン病院、佐藤玄德、齋藤親弘、高柳義伸、多田和弘、千葉守、高橋克、塚本二郎、武田鐵太郎、豊田隆謙、長池文康、長島道夫、中條仁、名倉宏、長谷川桂子、長谷川純男、早坂得良、針生常郎、河原町病院、堀克孝、堀田内科、星曠夫、藤田直孝、町田晶子、宮田隆光、森俊彦、師研也、森元富造、安田病院、湯村医院、結城豊彦、今村茂、田所慶一、妹尾重晴、今井克忠、榛澤清昭、樋渡信夫、松原修二、山形倫、曾根眞一郎、大方俊樹、今村幹雄、宮崎豊、猪岡英二、山口尚、作山昌則、吉田仁秋、丹野恭夫、かかず整形外科、新井宣博、わだゆうこ眼科クリニック、中嶋俊之、工藤洋平、日向野修一、松田恵三郎、津田克二、村口きよ女性クリニック、小松田辰郎、渡邊進、西抜和喜夫、仙台赤十字病院、柴原義博、若林浜田クリニック、仙台東脳神経外科病院、医療法人大史会、東北医科薬科大学病院、岡村州博、虎岩紘子、古川加奈子、加納一毅、今井豪、わたるクリニック、泉レディースクリニック、熊谷榮雄、広瀬病院、武者盛宏、佐藤泰彦、高橋剛、長崎医院、目黒泰一郎、医療法人社団池田クリニック、結城産婦人科医院、矢田部宏一、一般財団法人広南会、高橋秀典、神裕子、齋藤創、佐藤勤、松本文子、馬場安彦、清水雅行、仙台南病院、笠井豊、根本忠義、医療法人社団仙台腎泌尿器科、角田英樹、五十嵐章、秋元弘治、西尾美栄子、助川泉、まひと内科クリニック、目黒由紀、遊佐明、永井幸夫、川島孝一郎、山本克哉、一迫理恵

白石市医師会：佐藤秀一、三浦義邦、浅野俊弘、梅津佳英、小松和久、公立刈田総合病院、塚本内科消化器科、柿崎六郎

柴田郡医師会：大沼胃腸科内科外科医院、河内三郎、太田繁興、みやぎ県南医療生活協同組合、佐藤和宏、川崎病院、庄司則文、安田京

角田市医師会：同済病院、高山敦、安藤正夫、ウィメンズクリニック金上

塩釜医師会：赤石病院、池野暢子、今井信行、岩井修一、氏家紘一、小野寺仁至、及川潤一、大井知教、金俊夫、齋恒夫、坂総合病院、塩釜医師会消化器部会、塩竈市立病院、鈴木健史、鈴木室生、関晴夫、関口淳一、医療法人貫樹会、高橋晋、高橋輝兆、富永泰之、鳥越紘二、中山大典、林義峰、平澤内科、藤野茂、藤谷浩、本間正明、松下真史、松島病院、宮城利府掖済会病院、りふの内科クリニック、無量井泰、山田耕道、山田憲一、渡辺広己、井筒憲司、黒澤久三、藺部太郎、鈴木ヒトミ、渡辺孝志、

涌坂俊明、遠藤英敬、小片邦穂、藤原竹彦、真栄平昇、横山義正、高橋裕一、角田和彦、鹿島哲、鈴木隆志、佐々木泰夫、大井嗣和、(医社) 加瀬クリニック、じょうなんファミリークリニック、杉山幸一、沖津尚弘

巨理郡医師会：三上雅嗣、三浦俊治

名取市医師会：名取中央クリニック、小林芳江、田勢亨、曾我良輔、佐藤滋、丹野尚昭、佐藤滋彰、佐々木晴那、杉博、宮城県立がんセンター、あいのもりクリニック、原田雄功、毛利虎一

黒川郡医師会：公立黒川病院、大平千秋、吉永ひろ子、遠藤敦、医療法人社団清瑞会

加美郡医師会：伊藤健太、鈴木治、及川正道

大崎市医師会：木幡光彰、佐藤和朗、櫻井正徳、森啓之、大崎市民病院岩出山分院、小野寺敦、渋谷昌良、大崎市民病院鹿島台分院、中川公夫、大崎市病院事業管理者阿部健雄、三浦病院、近江徹廣、宮下英士、古川星陵病院、岩淵仁寿、渡辺麟也、千葉徹、沼田功、大久保孝一、高橋郁朗、(医) 星眼科医院、有馬和夫、鎌田修二、古川中央眼科

遠田郡医師会：野崎公男、佐々木和義、美里町立南郷病院、袖井文二

桃生郡医師会：加藤玲子、簡野医院、伊東正一郎、佐藤和生、河野秀信

石巻市医師会：阿部洋一、相沢正俊、伊藤健一、川村尚道、小林龍夫、佐藤信男、坂井武昭、高橋邦明、館田治、二宮健次、箕田紳一郎、矢崎重彦、田中典和、石巻赤十字病院、久門俊勝、川原田博章、舩真一、千葉淑朗、荒井啓史、佐藤純、佐藤清壽、高屋りさ、山本博尚、石塚圭一、矢吹法孝、古山元之、千葉淳

登米市医師会：登米市病院事業管理者、湊敬一、遊佐不三雄、登米市立豊里病院、田中悟、三浦守正、二瓶次郎、登米市立よねやま診療所、大坂國通、森明彦

栗原市医師会：達内科小児科、栗原市立栗駒病院、佐藤政子、佐々木裕之、栗原市立栗原中央病院、渡邊泰、栗原市立若柳病院、菊田公一、佐々木浩、三浦正明、宮城島堅、佐藤尚

気仙沼市医師会：医療法人移川哲仁会三峰病院、遠藤紘、大里篤志、葛但寛、森田潔、大友亮、森良一郎、猪苗代盛貞、小高庸一郎、気仙沼市立本吉病院、三条雅英、村岡正朗、小林直樹、笹原政美、菊地淳一、鈴木裕道、あいざわクリニック

岩沼市医師会：青木恭規、有田大作、中川榮子、山本クリニック、緑の里クリニック、町田幸雄、板橋隆三、星和彦

■みやぎよろこびの会

伊藤寛子、大友信子、佐々木春子、根元京子、結城ケサヨ、佐野壽美子、小野昭子、後藤ふじゑ、我妻倉吉、大泉ちね子、穴戸玲子、大塚吉雄、菅野セツ子、林蕙、石川司之、高橋孝男、狩野せきよ、萬里崎吉政、大友キクエ、千葉か津子、櫻井一男、菅間和子、江刺公子、佐々木新治郎、木村俊子、佐藤美千子、小野寺久幸、我妻百合子、佐々木榮之丞、浅井壽子、石川りよ、西條功、早坂征市、古澤喜造、阿部正義、中川ユリ、近江弥栄子、尾崎和子、菅原よね子、鈴木育子、菅原和子、門脇久子、及川三雄、伊東光子、佐藤いく

■賛助会費（宮婦連）

七ヶ浜町婦人会：鈴木弘子、伊丹はるの、佐藤民恵、千葉志美枝、三島知恵子

一迫婦人会：氏家あい子、菅原きよみ、曾根真子、熊谷初美、三浦一子

岩出山婦人会：橋本美恵子、佐藤妙子、菅原悦子、濱田悦子、

五十嵐ゆり子、加藤志美江、斉藤由起子、佐藤京子

岩沼市婦人団体連絡協議会：高橋たづよ、小関寛子、相原好子、酒井美枝子、小貫英子、加藤ち江子、櫻井よしみ、富田みや子、長田昌子

鶯沢婦人会：千葉たつ子、熊谷靖子、菅原キクミ、小野寺とし子、菅原美智子

女川町婦人会：横内静子、飯塚律子、阿部とまえ、阿部苑子、須田悦子、近藤くに子、岸サワ子、阿部けい子、小山栄子、高橋京子、伊藤文子、鈴木信子、東海久美子、遠藤悦子、勝又菊枝、木村佳代子、梁取礼子

西小野田婦人会：三嶋文子、高嶋信子、渡辺栄

大衡婦人会：遠藤つや子、堀籠幸子、崎山イエ子

大郷町婦人連絡協議会：高橋一子、赤間英子

鹿島台婦人会：佐藤孝、小堤キエ子、久道カヨ子、金澤とよの、阿部百合子

金成婦人会：千田京子、渡辺和子、石川昌子、鈴木美千代

階上婦人会：川村和賀枝、小山光子、斎藤弘子、前田若代、畠山幸子

遠田郡婦連：瀧川澄江、大村涼子、菊地千恵子、岡本とよ子、鑑清枝、駒米ナツエ、栗野トシ子

栗駒婦人会：菊地壽美子、菊池清子、佐藤かち子、佐藤すみ子、阿部久子

塩釜市婦人会：浅野ひろ子、菅原モリ子、我妻キクエ、佐々木和恵、佐藤文子、中村和子、石川とし子、三浦あいこ、内海みな子、小野和恵、阿部豊子、鈴木綾子、田中さよ子、千葉知子、林富子、岩田みち子、山野摩里子、高橋多賀子、菅野智子、小野秀子、中野チエ

柴田郡婦連：佐藤トシ、竹野幸子、水戸和子、遠藤勝江、八巻まし子、高橋敏子、森恵子

永野支部婦人会：佐藤ひさ代

白石市地域婦人団体連絡協議会：阿部初子、大森りつ、田口洋子、吉川淑子、太田さき子、斎藤ゆう子

色麻町婦人会：佐々木りえ子、佐々木やす子、斉藤都志子

高清水婦人会：小池年子、渋谷千王子、千葉和子、阿部和江、千葉美子、真山千秋

築館婦人会：高橋則子、長谷川美子、鈴木由紀子、佐々木としえ、千種輝子

豊里町婦人会：八木しみ子、大友秀子、遠藤しみ子、只野好子、芳賀芳枝

多賀城市婦人会連合会：渡辺とめ、櫻井やえ子、松田充子、平山千秋、星繁子、庄子よし江、平山照司、鈴木絹子、白濱宣子、稲葉愛子、田母神充代、堀米喜代子、千葉三津子、大友良子、桜井昌子、鈴木誠子、小野くに子、西とし子、鈴木臣子、後藤愛子、後藤みよ子、笹原うた子、菊田百合子、武中悠子、江釣子真理子、阿部純子、渡辺あや子、菊地きみ、根本菊江、佐藤育子、高橋宮子、坂本ノブ、大内英子、伊藤輝美、門田昭子

大和町鶴巣婦人会：馬場郁子、千坂かつえ、櫻井すみ子

大和町宮床婦人会：浅野よし江、浅田レイ子、貝田美喜子

大和町吉田婦人会：堀籠さと子、早坂真知子、堀籠美江子

名取市婦人会連合：渡邊勝子、三浦よね子、佐藤久子、本郷セイ子、江口清子、渡辺洋子、高橋志津枝、大久あき子、高橋ケサエ、渡辺八重子、中澤直子、庄司俊子、守智恵、佐藤元恵、三浦妙子、武山みち子、村上禮子、太田裕子、浅倉朝子

中新田婦人会：星洋子、芳野禮子、佐々木妙子

平成29年度 「黒川利雄がん研究基金」 研究助成金希望者募集

この基金は、当協会の初代会長である故黒川利雄先生の遺志を継ぎ、がんの予防及び早期発見、治療に関する技術の開発等に係わる若手研究者に対し、研究助成を行うことを目的に平成元年に創設されました。平成28年までに、112人に対し7,350万円の助成金を交付しています。

1 研究対象分野と応募資格

我国のがん予防および早期発見に関する技術の開発等、がん対策に係わる研究を行う50歳未満の個人および団体で、以下の研究分野を対象とする。

- (1) がんの疫学および集団検診に関する調査・研究・開発
- (2) がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発

2 申請手続き

申請者は宮城県対がん協会の理事または、貴所属長の推薦を受けた者とする。

3 応募件数および推薦件数

1個人・1団体または共同研究グループで1件とし、推薦件数も1人1件とする。

4 助成金の額

助成総額は220万円とし、研究助成金1件あたり100万円を限度とする。

5 応募手続き

応募希望者は下記宛にハガキまたはFAXで申し込むか、当協会ホームページより申請書類をダウンロードの上申し込むこと。

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7番30号
公益財団法人 宮城県対がん協会「黒川利雄がん研究基金」事務局 宛
TEL 022-263-1637 FAX 022-263-1548 <http://www.miyagi-taigan.or.jp>

6 募集期日

【公 募】 平成29年1月 【応募締切り】 平成29年3月末日

7 発表交付

【発 表】 平成29年5月 【交 付】 平成29年6月

編集・発行／公益財団法人 宮城県対がん協会法人事業課 〒980-0011 仙台市青葉区上杉五丁目7-30 TEL:022(263)1637 FAX:022(263)1548
ホームページアドレス:<http://www.miyagi-taigan.or.jp> Eメールアドレス:office@miyagi-taigan.or.jp